

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大津毛織(株)新工場 新築工事	階数	地上2F
建設地	大阪府泉大津市旭町129番の一部	構造	S造
用途地域	準工業地域・準防火地域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,300時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2018年4月 予定	評価の実施日	2017年8月20日
敷地面積	2,177 m <sup>2</sup>	作成者	藤原 重行
建築面積	1,232 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,432 m <sup>2</sup>	確認者	〇〇〇

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただき、外観写真を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.5</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> <p>環境品質 G (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 2.2</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 0.0</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.1</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 1.6</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 2.5</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 0.0</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 2.6</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 2.5</p>

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<p>現行関連法令等に基づき計画した。</p>		
Q1 室内環境	対象外	Q2 サービス性能
<p>2・1 対象外 2・2・1については建築基準法を満たした。2・2・2~2・2・4については建築設備共通仕様書に準じた仕様とした。3については余裕のある階高とした。</p>		Q3 室外環境(敷地内)
<p>建築基準法や開発許可申請に必要な空地や緑化面積を確保した。</p>		
LR1 エネルギー	対象外	LR2 資源・マテリアル
<p>社会通念上、必要な配慮程度としました。</p>		LR3 敷地外環境
<p>関連法規基準値を満たす範囲で設計しました。</p>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0066

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	大津毛織(株)新工場 新築工事				
		建設地	大阪府泉大津市旭町129番の一部133番1の一部				
		用途/区分	工場				
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価	★★★★★			B-		
	CO2削減	★★★★★			対象外		
	省エネ対策	★★★★★			3		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★★			2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
<b>【評価項目】</b>							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			—	—	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	—	3	
				住戸・宿泊	—		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			—		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			—		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			—		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			—		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.4		
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			1.0		
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							